十神山

会報 安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会
〒692-0064
島根県安来市古川町534
TEL 0854－28－9988
FAX 0854－28－9393
http://www.y-hozon.com／
E-mail:admin@y-hozon.com

平成29年度 安来節全国優勝大会

安来節保存会の真夏の祭典「安来節全国優勝大会」が例年どおり８月15日から17日までの３日間、安来市民体育館で開催されました。

今年は師範の部の鼓で加茂支部の和田亮太さんが三連覇、踊りでは二連覇をされました。

来年は会場を安来市総合文化ホール「アルテピア」で行う予定です。

入賞者一覧表

資格＼部門	順位	唄 支部名	唄 氏名	絃 支部名	絃 氏名	鼓 支部名	鼓 氏名	踊 支部名	踊 氏名
師範	優勝	広島支部	福原由美	鯉城支部	長部千春	加茂支部	和田亮太	加茂支部	和田亮太
	準優勝	本部道場	松﨑祥江	本部道場	岩田彩代	松江支部	小谷実	関西支部	内藤良典
	第三位	加茂支部	佐藤さおり	関西支部	西原和恵	境港東支部	岩田久美子	本部道場	一宇川耕士
	奨励賞	伊予道後支部	越智咲子	本部道場	松本記代子	本部道場	一宇川耕士		
		関西支部	西原和恵	東伯支部	小谷幸洋	本部道場	小池孝子		
		湖陵支部	堀川久美子	仁多支部	深田英治	益田支部	山﨑眞由美		
		本部道場	安達順子	関西支部	高木妙	斐川支部	西郁郎		
		松山支部	河本敬子	本部道場	松﨑祥江	宮島支部	堀口邦江		
熟年	優勝	浜田支部	後野トモ子						
	準優勝	大東支部	伊藤春美						
	第三位	米子支部	松本ミハル						
准師範	優勝	本部道場	柳浦奈美江	本部道場	山本朋子	本部道場	田中美幸	仁多支部	藤原恵太
	準優勝	東伯支部	赤坂昌寿	関西支部	水津秀美	広島南支部	押川祈蕗	本部道場	前田将光
	第三位	東海支部	松永茉見	松江支部	岡村美穂子	飯南支部	神崎京子	益田支部	山﨑勇
	奨励賞	本部道場	牧野美千代	鹿足支部	林大祐	関西支部	内藤良典		
		本部道場	青戸守	本部道場	田川洋一	広島東支部	伊藤栄		
		益田支部	松﨑岐瑠	本部道場	山根睦子	東海支部	猪飼友紀		
三段	優勝	本部道場	山本朋子	本部道場	増田日向子	本部道場	石田采	本部道場	一宇川泰公
	準優勝	本部道場	門脇弘子	江田島能美支部	木谷崇	東伯支部	赤坂昌寿	関東支部	鈴木美和
	第三位	津山支部	福原佳代子	松江支部	小村とうこ	津山支部	梶並清香	江田島能美支部	西田政子
	奨励賞	益田支部	岡山有美子	神門支部	永瀬文雄	本部道場	前田将光		
		広島南支部	梶木光世	益田支部	中島政子	宍道支部	小村恭一		
二段	優勝	東海支部	北原奈央	東伯支部	小泉清香	神門支部	品川笑里奈	東海支部	杉下里美
	準優勝	東海支部	猪飼友紀	東海支部	村松さつき	江田島能美支部	牟田一佳	山口支部	大谷英顕
	第三位	本部道場	大和恵美子	本部道場	吉村優那	関西支部	吉田麻里	伊予道後支部	和田育子
	奨励賞	仁多支部	石山スミ子	広島玉実支部	山﨑たけ子	伊予道後支部	高須賀勉		
		江田島能美支部	兵間早富	益田支部	岡山有美子	飯南支部	神崎涼菜		
初段	優勝	平田支部	常松守男	本部道場	高橋佳祐	松江支部	内田太一	広島東支部	本田竹邦
	準優勝	尾高支部	山内結子	本部道場	門脇碧衣	大江戸支部	一宇川普	津山支部	福原寛登
	第三位	本部道場	石井静恵	本部道場	太田愛	境港東支部	川本清	本部道場	山野治男
	奨励賞	東伯支部	小泉清香	大社支部	日野光郎	松江支部	荒川ゆかり		
		本部道場	門脇碧衣	広島東支部	本田竹邦	本部道場	高橋定雄		
一級	優勝	本部道場	中井博子	湖陵支部	大國喬雄	本部道場	吉村優那	本部道場	福田美智子
	準優勝	神門支部	糸賀奈穂美	松江支部	福頼孝之	湖陵支部	中尾俊介	関西支部	牛田侑希
	第三位	本部道場	畑早苗	大江戸支部	一宇川清子	広島東支部	中村君代	江田島能美支部	生土雪春
	奨励賞	東海支部	田中孝尚	広島東支部	坂根洋子	益田支部	石川妙子		
		益田支部	岸田華子	本部道場	松本路子	関西支部	寺尾源造		
二級	優勝	平田支部	栗原房男	神門支部	糸賀奈穂美	本部道場	増田日向子	本部道場	坂田和男
	準優勝	本部道場	森下佳奈恵	東伯支部	福井若菜	本部道場	中井博子	関西支部	提坂陽子
	第三位	松江支部	堀江琴代	尾高支部	山内結子	米子支部	荻原健司	湖陵支部	名原祐紀
	奨励賞	湖陵支部	名原祐紀	本部道場	畑早苗	大東支部	森脇富則		
		東伯支部	遠藤麻衣子	本部道場	庭田恵水	湖陵支部	吾郷静子		
三段少年	優勝	本部道場	増田佐和子	本部道場	増田佐和子	松山支部	河本舞	神門支部	高橋大河
	準優勝	松山支部	河本舞					神門支部	神田悠希
	第三位	本部道場	石田侑					神門支部	今岡竜希
二段少年	優勝	本部道場	石原奏司郎	本部道場	石田侑			広島南支部	梶木七の葉
	準優勝	広島南支部	梶木七の葉	松山支部	河本舞			神門支部	安食海音
	第三位	備北支部	村岡美南	松山支部	大野美海			松山支部	藤高陽斗
初段少年	優勝	関西支部	井元栄彰	大東支部	原一未	松山支部	藤高陽斗	関西支部	井元栄彰
	準優勝	加茂支部	陶山桔平	飯南支部	神崎衣緒	本部道場	国重菜津美	神門支部	井山獅之介
	第三位	加茂支部	陶山紗碧			広島南支部	都間小鈴	神門支部	神田昂陽
一級少年	優勝	宍道支部	別所貴哉	東伯支部	福本唯央那	本部道場	石田侑	岡山支部	三宅陸心
	準優勝	津山中央支部	柿本彩花	智頭支部	祐延里菜	加茂支部	陶山紗碧	本部道場	鳥谷悠阿
	第三位	広島南支部	信保胡桃	広島玉実支部	平本雄也	広島南支部	広中しずく	神門支部	今岡晃佑
二級少年	優勝	岡山支部	三宅陸心	神門支部	吉川莉央	本部道場	増田佐和子	神門支部	安食美咲
	準優勝	湖陵支部	下井琥優	広島南支部	信保胡桃	湖陵支部	大國泰雅	米子支部	水戸花鈴
	第三位	本部道場	片山奈々	湖陵支部	栂野可帆	広島玉実支部	平本雄也	神門支部	安食和哉
三級少年	優勝	東海支部	遠田梨々香	湖陵支部	下井琥優	神門支部	高橋大河	神戸支部	川上乃彩
	準優勝	本部道場	澤田氣	広島南支部	梶木凛人	神門支部	今岡竜希	神戸支部	丹羽夏希
	第三位	東海支部	松永悠里	湖陵支部	吉尾朱加	備北支部	岡田真郷	神門支部	高橋拓史

銭太鼓の部

優勝　智頭チーム
坂本真希子
藤井沙紀
福永瞳
祐延里菜
末延華子
石部紗英
桑田さやか
辻怜菜
山田好純

準優勝　本部道場チーム
松本記代子
松﨑祥江
国重香菜子
山岡はるの
石田采
吉村優那
二岡葵
増田日向子

第三位　静岡チーム
濱先未朋
近藤美智子
杉山勢津子
匂坂竹子
神谷艶子
大桑啓
寺田末子
高塚信子

団体の部

優勝　本部道場
唄　安達順子
　　田中美幸
絃　松本記代子
　　松﨑祥江
鼓　岩佐光恵

準優勝　松江支部
唄　堀江さつき
　　佐藤美佐子
絃　長谷川恭子
　　高木賢徳
鼓　安達哲彦

第三位　加茂支部
唄　佐藤さおり
　　陶山めぐみ
絃　林智美
　　和田亮太
鼓　坂本稔

奨励賞　益田支部
唄　出雲美枝乃丞
　　柴田みどり
絃　山﨑政美
　　佐々井貴子
鼓　山崎眞由美

奨励賞　湖陵支部
唄　中島義雄
　　桑原重治
絃　太田由加子
　　田中智也
鼓　別所ヒロ子

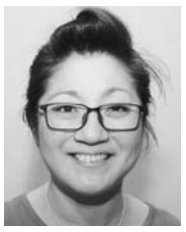
ご協賛披露

安来市長賞
BSS山陰放送賞
審査員特別賞
安来市観光協会伯太支部
安来特産品組合
スポーツショップ まつもと
安来節屋
師範の部　各優勝者
安来市観光協会広瀬支部長賞
熟年の部　唄優勝者
安来市観光協会長賞
准師範の部　各優勝者
清水・さぎの湯
観光地連絡会賞
三段の部　各優勝者
安来商工会議所会頭賞
二段の部　各優勝者
JAしまね
やすぎ地区本部長賞
初段の部　各優勝者
家元四代目渡部お糸賞
少年三段の部　各優勝者
安来市教育長賞
少年二段の部　各優勝者
足立美術館賞
少年初段の部　唄優勝者
安来節演芸館賞
少年初段の部　絃優勝者
安来市観光協会長賞
少年初段の部　鼓優勝者
出雲文化企画賞
少年初段の部　踊優勝者
安来特産品組合賞
少年一級の部　各優勝者
安来市長賞
団体の部　優勝チーム
安来商工会議所会頭賞
団体の部　準優勝チーム
JAしまね
やすぎ地区本部長賞
団体の部　第三位チーム
西村堂賞
守谷宗光賞
団体の部　奨励賞チーム
エッグ賞
銭太鼓の部　優勝チーム

（順不同・敬称略）

師範の部 優勝者

唄



福原由美
（広島支部）

安来節全国優勝大会 師範 唄の部で優勝させていただきありがとうございます。

はじめに、ご指導くださる先生方、毎年このような素晴らしい大会を運営してくださる大会関係者の皆様、安来節保存会の皆様、そして地元 広島支部の皆様に感謝申し上げます。

また、今回、師範 絃の部で優勝した長部千春様、鼓の長部啓二様、一緒にお稽古してくださる仲間、いつも全力で応援してくれる家族に感謝いたします。

何はともあれ、絃の長部千春さんとの同時優勝は夢のようで本当に嬉しいです。

平成十五年に二級で初出場。平成二十一年に師範、唄の部で優勝して以来、八年間さらなるレベルアップをはかるため他の民謡も勉強しています。しかしながら私にとって安来節は特別な存在であり、経験とともにさらに奥深さを実感し、また新しい発見に出会える素晴らしい民謡だと思います。来年は会場が新しい文化ホールで開催されるとのこと、さらにグレードアップした全国優勝大会となるように祈念いたしております。

安来節を全国へ、世界へ、また後世へ唄い継ぐお手伝いができるように精進いたします。

皆様、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

絃

長部千春
（鯉城支部）

安来節を始めて二十四年が経ちました。三味線を弾いている父の姿を見て興味を持ち、好奇心から始めました。八歳の時から現在に至るまで父に指導してもらい、それから毎年全国大会出場を目指してきました。昔を思い返すと師範の部で優勝を頂けるとは本当に信じられないです。喜びの気持ちで一杯です。

ここ数年間は出産、育児で思うように稽古が出来なくなりましたが、鯉城支部の皆様の御協力のお陰でここまでやって来られた事に感謝しております。

現在四歳の娘も来年の全国大会に向けて、唄の稽古に励んでいます。三世代で全国大会出場出来る事を夢見て、これからも頑張りたいと思います。

今まで御指導下さった先生方、支部の皆様、そして家族に深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

鼓・踊

和田亮太
（加茂支部）

今年も昨年に引き続き、鼓と踊で三連覇、踊で二連覇を出場し、鼓で三連覇を出来ました。この様な栄誉ある賞を頂きましたのもひとえに、これまで熱いご指導を頂きました出雲俊之助先生を始めとし、加茂支部の皆様、また踊の方では、三代目出雲愛之助先生を始め、大東教室の皆様には大変お世話になり、この様な結果につながりました事を厚くお礼を申し上げます。そして何よりも家族の理解や応援があってこそ成し得たものと思っております。

これまでを振り返ると色んな悩みや葛藤もありましたが、その度に先輩方からアドバイスを頂き、自分で試行錯誤しながら皆様に支えられてここまで辿りつきました。

お陰様でこのような賞を頂きました事は大きな喜びであり、今後の励みとなりました。まだまだ学ぶべき事がたくさんありますけども、これまで諸先輩方が築き上げられたものを大切にして、この結果を一つのステップとして、今後の安来節に精進して参りたいと思います。

最後になりましたが、これから日々努力をし、今までお世話になった方々に少しでも恩返しできる様、安来節に貢献していきたいと思います。

今後とも何卒変わりませず皆様方のご指導の程よろしくお願い致します。ありがとうございました。

少年三段の部 優勝者

唄・絃

増田佐和子
（本部道場）

安来節全国優勝大会少年三段の部で、唄と絃で優勝できたことをとてもうれしく思います。

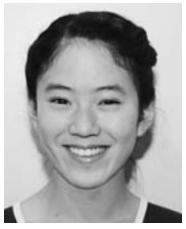
安来節を始めたのは小学校3年生の時でした。その頃は、唄うことで祖父母達が喜んでくれたので、楽しみながら唄っていました。中学生になると部活動が始まり、なかなか自分の時間が取れなくなりました。休日には、部活動の練習や大会があり、思うように安来節の練習ができず、こんなことで大丈夫かなと不安でいっぱいでした。そんな私を励ましてくれたのは、一緒に練習をしている姉でした。時間を見つけては、熱心に練習する姉を見て、私もやるしかないと思いました。そして、先生や家族に協力してもらい、大会前に集中練習をしました。

大会では、入賞するかどうかを考えるより、全力を出して、今一番最高のパフォーマンスをしようと臨みました。

来年は、少年の部最後の年になるので、今年以上に成長した自分でチャレンジしたいと思います。時間がないと言い訳せず、少ない時間でも有意義な練習ができるように頑張ります。

最後になりましたが、指導していただいた先生方、応援してくださった皆さま方、本当にありがとうございました。

鼓



河本　舞
（松山支部）

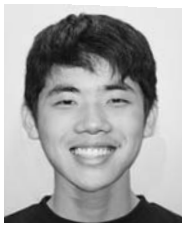
今年の大会、少年三段の部の鼓で優勝する事ができ、とても嬉しいです。

私は、唄、三味線、鼓を習っていますが、その中でも一番自信があるのは鼓です。その鼓で優勝できて本当に嬉しいです。舞台では少し緊張したけど、自分の音をしっかり聞いて打つ事ができました。いつもは、ほめない父が「今日は一番良い音がなっていた」と言ってくれたので嬉しかったです。少年の部、最後の年で鼓優勝、唄準優勝、絃は二段で準優勝とそれぞれ賞を取れた事、とても感謝しています。全国大会に出場してたくさんの友達もできました。本当に安来節を習っていて良かったです。毎年、家族五人で来ていましたが、今年は両親と私の三人で来ました。姉達も三段で優勝しているので、私も少しは優勝を意識していました。そして、優勝する事ができ、少しホッとする気持ちもあります。

私が安来節を習い始めたきっかけは、姉達が習っていたからです。姉達が全国大会で唄っている姿を見て、すごいなぁと感動したのを覚えています。私は小学二年生から安来節を始めました。それから毎年夏は島根に来ています。ホテルに泊まるのも楽しいし、近くのイオンに行くのも楽しいです。そして今年も三日間大会を観て、たくさんの上手な人の安来節を聴き、勉強になりました。特に団体の部を観て感動しました。松山支部でも出場したいと思いました。

来年からは、一般の部なので、今まで以上にがんばって練習していきたいです。「高校になっても、安来節をやろうね」と約束したので、私はがんばりたいです。今回は本当にありがとうございました。

踊



高橋大河
（神門支部）

この度は、少年三段の部で優勝を頂きありがとうございました。ご指導頂いた先生方、支部の皆様方に感謝申し上げます。少年の部最後の年で優勝を頂けたこと、本当に嬉しく思います。現在、神門支部窪田教室で六歳～十五歳の少年部の仲間達と共に練習をしています。先生方からは挨拶や礼儀も含めて、楽しく、時には気迫に満ちた熱い指導を受けながらメリハリある練習を重ねています。私達はみんな安来節が大好きです。

最後に、来年度からは一般の部で先輩方の指導を受けながら頑張っていきたいと思います。鼓や絃もまだまだこれからですが、いつの日かまた優勝に手が届く日を目標に益々頑張ります。先生方、ご指導よろしくお願い致します。

この度は、本当にありがとうございました。

団体の部 優勝チーム

本部道場の皆さん

代表　安達順子

優勝は…本部道場！

体育館にアナウンスの声が響きました。本部道場が優勝旗を手にしたのは、三年ぶりのことです。

私は喉の調子があまりよくなく、何度も立ってきた全国大会のステージの上で、かなり緊張していました。本部の皆さんの大きな声援が聞こえたあと、掛け声から始まるピッタリ息の合ったきよちゃん、さっちゃん二人の三味線、体育館の隅まで響く光恵さんの鼓、満員の体育館に誰もいないかと思うくらい、会場は静まり返っていました。美幸さんの唄も素晴らしく張りのある声で、この空気を壊すわけにはいかないと、私は喉のこわばりを吹き飛ばす思いで、全身全霊で唄いました。

そんな五人の気持ちが一つになった結果、優勝できて心の底から嬉しい気持ちで一杯になりました。

安来節の本場である本部道場にとって、団体の優勝は特別な意味を持つと思います。応援してくださった本部の皆さん、そして何よりも一緒に舞台に立ったメンバー、本当にありがとうございました。本部に生まれて…よかった!!

銭太鼓の部 優勝チーム

智頭支部の皆さん

代表　坂本真希子

念願叶った優勝大会

昨年度の大会では三連覇を狙って挑戦したものの、準優勝という惜しい結果。

昨年の大会後からどの部分を直すべきか、何が足りなかったのかを何度もビデオを見直し、練習へと生かすようにしました。また今年は打ち手や伴奏者も変わり、どれだけ全体で息を合わせ、まとまった演技をするかが、最大の課題と思われました。六月の地区予選会当日。伴奏者と十分な練習が出来ないままの挑戦となりました。無事予選通過はしたものの、大会本番までにクリアしなければならない課題が見つかりました。その後は少人数での練習に力を入れ、打ち手一人一人が熱心に練習へ取り組んでいきました。

いよいよ大会当日。衣装に着替え、タスキとハチマキをしめると本気モード全開。地方の先生との練習を終え、いざ本番です。「リラックスして楽しもう」と舞台へ出ていきました。力強い応援もあり、あっという間に本番終了。何度も大会に出ていますが、舞台から降りると同時に全身に鳥肌が立ったのは初めての事でした。そして「終わった…」という安堵感に包まれました。

結果は見事優勝！本当に全員がよく頑張ってくれました。そして打ち手以上に緊張していた地方の先生方にも感謝の気持ちで一杯です。この結果に満足せず、また来年度も挑戦していきたいと思っています。諸先生方の御指導、御鞭撻の程、これからもよろしくお願い致します。

ごあいさつ

専務理事兼事務局長
内田修次

本年4月より安来節保存会専務理事兼事務局長を拝命しました内田修次でございます。

長い歴史がある安来節保存会と正調安来節を正しく伝承できるように努めてまいりたいと思っております。

そのためには、会員の皆様のご意見、ご要望に耳を傾け、より良い保存会となるように努力してまいります。

今後とも会員の皆様が楽しく活動ができるように、そして魅力ある保存会となるようにご理解とご協力をお願いし、ごあいさつといたします。

事務局からのお知らせ

安来節のしおり（平成29年度版）に誤りがございました。
追加、訂正してお詫びいたします。

【追　加】
大社支部　P147
◆二段　銭太鼓　安食久重
◆二段　銭太鼓　加藤和子

【訂　正】
本部道場　P129
誤 ◆三級　銭太鼓　北田登喜子
↓
正 ◆二級　銭太鼓　北田登喜子